

# 宮崎の低価格HP制作会社

## ドーガンが投資

3150万円

ドーガン・インベストメンツ(福岡市)は、運営する中小企業支援ファンドが、ネットショップ用のホームページ(HP)制作を手掛けるアラタナ(宮崎市)に投資することを明らかにした。16日に優先株を引き受ける形で3150万円を出資する。

アラタナは2007年設立の情報技術(IT)ベンチャー。ネットショップの構築は通常数百万円かかるが、独自のシステムを開発して15万円からという低価格で受注している。ネットショップを新設する中小規模の店舗に好評で、設立から3年で約500店の制作を手掛けた。11年4月の売上高は前期比2倍の3

億2千万円を見込むなどさらに成長が期待されるため、出資を決めた。活用するファンドは、ドーガンや中小企業基盤整備機構、西日本シティ銀行(福岡市)などが出して14件目の投資先となる。資する「チャレンジ九州」(黒石規之)

## ネットトイ 高機能携帯向け制作 アラタナ 地元ファンドが出資

西日本シティ銀行や九電工などが出資し、ドーガン・インベストメンツ(福岡市)が運営する「チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド」は、宮崎市のIT(情報技術)ベンチャー企業、アラタナ(浜渦伸次社長)に約3000万円を投資する。

アラタナは調達資金を

もとに、高機能携帯電話「スマートフォン」向けのネット通販サイトの制作・運営サービスに乗り出す。今月下旬にもサービスの提供を始める。

同社はネット通販事業者向けにサイトの制作・運営サービスを手掛け、全国に約300の顧客を持つ。2011年4月期は前期比2倍の3億2000万円の売上高を見込む。

同ファンドは地場企業の支援による地域活性化を目指して設立され、今回の投資先は14件目。「事業モデルに競争力があり、宮崎市で雇用を増やしたいという企業のビジョンもファンドの目的に合致した」(ドーガン)という。

ネットショップ開設、運営支援

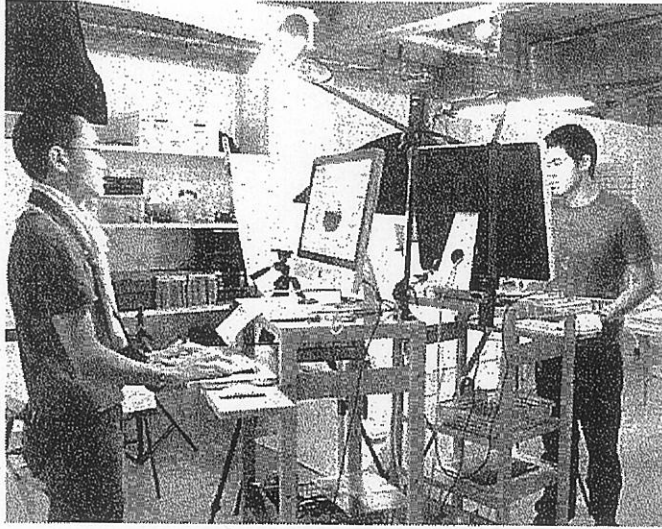
# アラタナに3150万円投資

宮崎市

## 福岡の雇用創出など評価

インターネット関連サービスのアラタナ(宮崎市、瀧崎伸次社長)が事業を拡大している。15日には、ドーカンインベストメンツ(福岡市)が運営する「チャレンジ九州:中小企業

「がんばれフランド」の投資先に選ばれ、3150万円の株式投資を受けた。2007年創業と歴史は浅いながらも、ネットショップの開設や運営を支援する独自サービスが好調。



若草通商店街にある本社内に設けた写真スタジオ。1枚315円という低価格で、商品写真を撮影するサービスが好評だ(宮崎市橋通東3丁目)

雇用創出にも貢献している。

同フランドは、中小企業の新事業展開や拡大を支援しようとする西日本シティ銀行や九電工などが出資して組成しており、本県企業への投資は初めて。事業発展の可能性や雇用創出による地域活性化への貢献などが評価された。

アラタナは、オープンソースソフトウェアの「ECCUBE」を活用して、ネットショップ開設のためのサーバー環境や決済機能などをパッケージ化した「CAGOLAB(カゴラボ)」を開発し、これまでに約300件のショップ制作を請け負った。初期投資費用約15万円、月額約1万円から開店できる手軽さを売りにする一方で、月額5千円の大規模ショップも手掛けるなど、顧客の規模を問わず、希望に沿った細やかなサ

ービス提供が強い。

一年半ほど前からは、商品ページの作成やメールマガジンの発行など、ショップ運営をサポートするサービスも開始。中でも、アパレル商品を中心にした商品写真の撮影代行サービスが好評で、月間の撮影件数は約1万枚に上る。同市内の本社に設けたスタジオで撮影する写真は1枚315円に設定。仕上りの良さに加え、千円前後が主流だという業界価格との差別化で人気を得ている。

「宮崎に千人の雇用を作る」という創業当時に掲げたビジョンも着実に進展。事業拡大に合わせて従業員数は創業当時の2人から現在45人

(アルバイトを含む)に増加した。平均年齢が27歳と若いことも特徴。今年3月には東京事務所を開設し、顧客の3〜4割が集中する関東での営業活動を強化している。

アラタナは今回の投資を、カゴラボをはじめ、ネットを通じてソフトウェアや情報システムのサービスを提供する「クラウドコンピューティング」事業の拡大に活用。今月中には、「iPhone(アイフォーン)」などのスマートフォンに対応したモバイルネットショップ運営のサービス提供も開始予定だ。山本総取締役は「さらなる事業の拡大や雇用を創出する余地は十分にある」と話している。